

# 防府消化器病センター

一般財団法人

9月

いてふ

ICHO-No.28 2019

Message from our Director

## 廃用症候群とリハビリテーション

病院長 三浦 修

廃用症候群とは過度に安静にすることや、活動性が低下したことによって身体に起こったさまざまな状態です。例えば、筋肉や骨の萎縮、関節の拘縮、心機能低下、誤嚥性肺炎、血栓塞栓症、うつや譫妄状態、さらに褥瘡や圧迫性末梢神経障害などが起こります。とくに高齢者にとっては、安静臥床を続けることあるいは強いことは廃用症候群に陥る大きなリスク要因になります。

昨今の超高齢社会に伴い、がんを含めた外科手術を受けられる方の平均年齢も高齢化しているのが現状です。現在、手術前には既往歴や手術歴、内服薬剤、喫煙歴、社会的背景、日頃の身体活動状況、労作制限の有無など患者さんの情報を十分に収集し、呼吸機能、運動機能を評価し、ご本人に呼吸訓練器などを使った呼吸練習をもらって、咳嗽の仕方や痰の出し方、深呼吸の具体的方法を実践しつつ術後のリハビリテーションの必要性を理解してもらっています。手術後は、できるだけ早くリハビリテーションを開始することで、手術に伴う呼吸器系への侵襲や不動に伴う影響を最小限にとどめ、術後合併症の予防、呼吸機能の回復、四肢筋力や運動能力の維持・改善、術後嚥下障害の予防などになります。

チームとして、先進的なリハビリテーションを行っている施設では、ICU、CCUなど集中治療室での治療と並行して、ポータブルの人工呼吸器を動かしながら、一緒に歩行訓練などを行っている場面が紹介されています。全身状態を常に把握しつつ、安全に留意しながらできるだけ早期に刺激を加え、座位・立位になって頂き、さらに歩く段階まで進むことができれば、患者さんの活動性を担保することができます。

安静臥床は、1週間で筋力が15%、筋量は30%低下し、拘縮が始まります。さらに肺炎や褥瘡、静脈血栓などの危険性もあります。周術期の患者さん、高齢の患者さんに安静臥床は害であるという概念、文化を持つことが、医療や介護を提供する側にも、患者さんご自身やご家族の方にも必要となります。



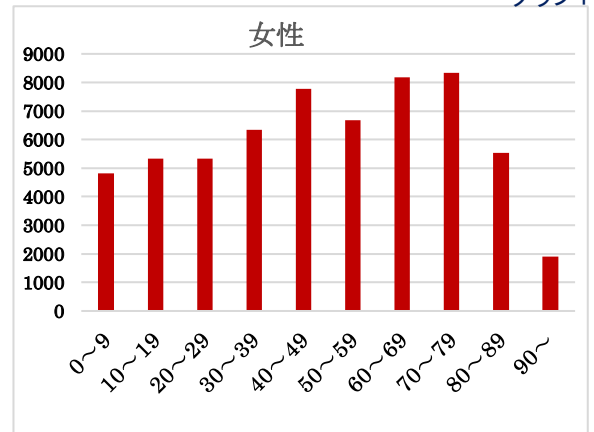
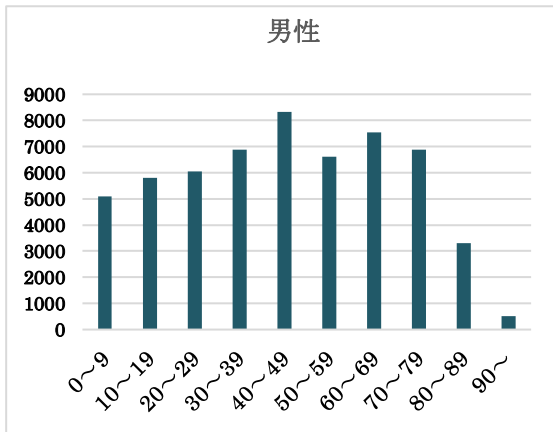
大腸癌の早期発見・早期治療を目指して“便潜血検査を受けましょう！” 消化器外科 医師 柿本 忠俊

大腸癌の罹患率および死亡率は年々増加の一途をたどっており、罹患率は男性で肺・胃に続き第三位、女性では乳癌に続き第二位、死亡率は近年ピロリ菌の除菌治療により減少傾向を認める胃癌を抜いて肺癌に続く第二位、特に女性では第一位です。大腸癌が増加傾向にある原因として、食生活の欧米化が挙げられます。例えば動物性の脂肪を摂ると、消化を助けるために胆汁酸が多く分泌されますが、脂肪の消化の際に発生する物質のなかに発がん物質があり、この影響で大腸の粘膜にがんが発生すると言われています。



このように増加傾向にある大腸癌ですが、男女とも 40 歳台から徐々に増え始め、60 歳台からさらに上昇、ご高齢になるほど罹患率が上昇する傾向にあります(国立癌研究センター調べ)。一方で防府市の人口を見てみると、本年 5 月の統計では男性では 40 歳台に続き 60 歳台・70 歳台が多く、女性では 60 歳台・70 歳台が最も多くなっています(グラフ 1)。

つまり防府市の人々にとっても大腸癌は見逃してはならない疾患の一つと言えます。実際当院でこの 5 年間に行われた手術の約 25%が大腸に関連するものであり(全 1720 件中 440 件)、そのうちの約 80%が大腸癌(結腸癌 53.4%、



グラフ 1

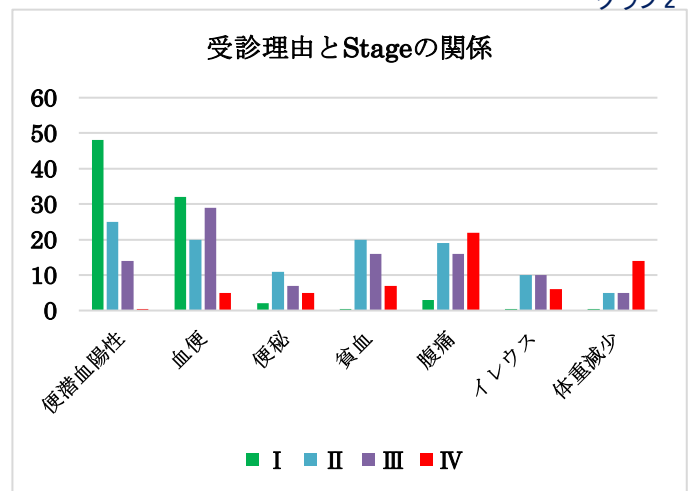
直腸癌 26.3%)に対するものでした。これはあくまでも手術の件数のみですので、内視鏡的治療が行われた大腸癌を加えるとさらに多くなります。

大腸癌の治療の三本柱は内視鏡治療・手術治療・抗がん剤治療ですが、どの地域のどの病院でも同じ質の医療が受けられるよう 2005 年に「大腸癌治療ガイドライン」が整えられ、今回 2019 年版が発行されました。当院でもガイドラインに基づいて治療を行っておりますが、治療方針は癌の進行度、いわゆる Stage により決められます。具体的には Stage I は内視鏡治療、Stage I ~IVの一部は手術治療、Stage III ~IVは抗がん剤治療です。近年腹腔鏡手術や抗がん剤の進歩により、Stage IIIa までの 5 年生存率 90%以上と長期生存を望めるようになりました。一方で Stage IVの 5 年生存率は 30%前後と明らかな差があります。当院での症例も、Stage IIIまでの 5 年生存率は 90%以上ですが、Stage IVは結腸癌で 40%、直腸癌で 27%と全国平均とほぼ同等でした。また、Stage III以上であれば手術後に抗がん剤の補助療法を行います。抗がん剤の副作用(吐き気、しびれ、皮膚障害、食欲低下など)に悩まされ、続けられない方もおられます。手術だけでも痛いしつらいのに・・・。

というわけで、最も大事なことは(どの疾患でもそうですが)早期発見・早期治療です！ではどうやってこれを達成するかですが、今回当院で手術を受けた方の受診理由と Stage の関係を調べてみると、興味深いことが分かりました(グラフ 2)。

つまり、便潜血陽性や血便を主訴で来られた方は Stage が早い場合が多く、逆に腹痛やイレウス症状、体重減少など症状が現れてから来られた方はかなり進行している場合が多いという結果でした。もちろん便潜血陽性でも内視鏡検査をしてみると、痔や結腸憩室症などの場合も多いです。しかし、「たぶん痔だろう・・・。」と思って検査を受けたら実は早期の癌だった、または癌化する前のポリープだったケースも枚挙にいとまがありません。

便潜血検査を定期的に受けていただくことで、早期癌の発見につながり大腸癌による死亡を防ぐことができます。さあ、Let's check it out!!



グラフ 2

## サマーコンサートの報告

～Jazz Trio そよ風～

先月号でご報告できませんでしたが、去る7月18日に当院リハビリテーションホールにてサマーコンサートを開催いたしました。加藤紘さん(クラリネット)、船本直美さん(キーボード)、加藤由香里さん(チェロ)の3名からなるJazz Trio そよ風の皆さんに、梅雨空のもとではありましたが、さわやかなジャズ、「そよ風」をはこんでいただきました。Fly me to the moon や黄昏のビギンなど名曲が披露されました。患者さんをはじめ地域の方々にも多くの方々においでいただきました。ありがとうございます。また、秋のコンサートを企画しておりますので、お楽しみに。



## 健康公開講座

去る8月19日(月)「臓器移植の未来は? ～移植医療と再生医療について～」と題して第127回健康公開講座を開催いたしました。ご講演いただきましたのは、独協医科大学埼玉医療センターの小児外科・移植センターの准教授である浦橋泰然先生です。世界や日本における臓器移植の歴史から未来へ向けての展望など、とても興味深いお話をご講演いただきました。通常の治療とは異なり、移植医療にはドナーが必要であるという特殊性や再生医療の倫理的課題など難しい問題もかかっていますが、一人でも多くの患者さんが救われるよう、医療が発展することは健康な明るい未来につながるのではないかと感じました。10月には第128回健康公開講座を開催予定です。当院の非常勤医師でもある藤原胃腸科内科学長の藤原崇先生にご講演いただきます。アスピラートまでぜひおいでくださいませ。お待ちしております。



獨協医科大学埼玉医療センター  
准教授 浦橋 泰然 先生

### 第128回 健康公開講座

よくわかる胃がんとピロリ菌のはなし

講師 医療法人 一陽会 藤原胃腸科内科 院長 藤原 崇 先生

2019年10月3日(木) 19:00 開演 アスピラート3階

### 地域医療連携・相談室より

昨年末より、地域のクリニック・病院の先生方とのより深い連携を目指して約8カ月が経過いたしました。それに伴い、6・7月の紹介件数は前年度の同時期より40%近く増加しています。また、紹介患者の皆様約4割の方が入院で検査・治療を受けています。今後も地域の先生方との連携を密にし、地域医療に貢献していく所存ですので、よろしくお願いいたします。



外来診療予定表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1診	松岡	三浦	三浦	松岡	三浦	交代制
	2診			竹尾	藤原 9:00~		交代制
	3診	藤原 9:00~	竹尾	柿本	三浦	松岡	交代制
	5診	柿本	松岡	鴨打	竹尾		
	6診	南園	戸田 9:00~	南園	鴨打	柿本	
	肛門外科	宇都宮		宇都宮		宇都宮	
午後	1診	戸田	休診	戸田	休診	戸田	休診
	肛門外科	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診	宇都宮(※)	休診

	診療日時	受付時間	診療時間
平日	午前	8:00~11:00	8:30~
	午後(月・水・金)	13:30~16:30	14:00~
土曜日	午前	8:00~11:00	8:30~

※ 肛門外科：午後は手術等が中心となりますので、外来受診については当日お問い合わせください。  
土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。  
出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。  
担当医が不在の場合は代替りの医師にて診療を行います。

Access



一般財団法人 防府消化器病センター

山口県防府市駅南町 14-33  
TEL: 0835-22-3339 (代表)  
HP: <https://www.hofu-icho.or.jp>



交通機関のご案内

【電車】 JR 防府駅よりバス 2分 (防府市役所前下車)  
または JR 防府駅より徒歩 10分

【バス】 防府市役所前下車

【お車】 山陽自動車道 防府東もしくは防府西インターから 10分

Editorial Note

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は気温 35 度を超える報告が珍しくなく、熱中症予防のための注意喚起も様々な局面で頻回に耳にいたしました。これから、「珍しく冷夏」という年がないとはいえませんが、酷暑が普通で 35 度超でも「普通の夏」になってしまうのかもしれませんが。激しい降雨や急激に冷気を感じるなど、天候の変化に不穏な気配もありますが、虫の音に秋を感じる夜も訪れました。夏の疲れが一気にでませんよう、皆様もご自愛のほどどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 栗林左知